

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年11月14日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまか11月14日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明します。

今週は第43回から第45回まで3回委員会がございますが、第43回と第45回については先週金曜日に御説明しております。今日は第44回の規制委員会の議題について、まず御説明いたします。

議題の1は、原子炉安全専門審査会及び核燃料安全専門審査会会長との意見交換です。

昨年、炉安審・燃安審の会長との意見交換を踏まえまして、11月に炉安審・燃安審の調査審議事項に安全性向上評価制度の在り方や運用の見直しに係る検討を追加しております。その後、今年6月に原子炉等規制法の改正がございましたけれども、その議論の際に、高経年化した発電用原子炉の安全確保のために設計古さについて見ていくことが必要だという議論がございました。設計古さについては、いろいろな制度で担保をしていて、バックフィットによる新知見の取入れとか、新制度で審査を行う長期施設管理計画の中でスペアパーツのサプライチェーンの管理についての審査をするといったような対応で見ていく部分もございますけれども、例えば規制機関も被規制者も認識できないような欠けがないかというものはCNO会議（主要原子力施設設置者の原子力部門の責任者との意見交換会）で今後議論を行っていくということにしましたし、いろいろな形で担保することになっております。

この設計古さについては個々のプラントごとに異なるというところもございますが、新しい技術を活用した最新の炉型との比較で差分を抽出して対応していくということのためには、安全性向上評価制度を活用するといったようなこともあるのではないかと期待がされております。

このような状況でございますので、炉安審・燃安審で安全性向上評価の議論をどのように進めていくかということについて、原子力規制委員会との議論の場を早く設けるようにと委員のほうから指示を受けてございます。明日はこの指示を受けまして、炉安審の関村会長、燃安審の山本会長においでいただいて、お考えを伺って委員と意見交換を行っていただくというものでございます。

議題の2は、令和5年度原子力規制委員会年度業務計画の変更です。

原子力規制委員会では、業務管理のために、毎年度、全ての業務について業務計画を策定しております。この計画は、半期に一度全体の進捗を点検しておりまして、今回、その点検の結果、業務進捗とか新たな課題が発生したことなどの状況の変化を踏まえて、計画そのものを見直す必要のある事項が出てきたことから、計画の変更について委員会にお諮りするということですのでございます。

議題の3は、原子力規制委員会の令和5年度の補正予算案の概要です。

補正予算案については、先週11月10日に閣議で決定されたことから、これを委員会に報告いたします。今年度の補正予算案は、一般会計6.9億円、エネルギー特別会計48.4億円、合計55.3億円となっております。今年4月に高度被ばく医療支援センターに指定した福井大学に原子力災害医療を充実するための施設整備を行うための支援などの経費が含まれております。

議題の4は、原子力規制国際アドバイザーと原子力規制委員会との意見交換会合の結果概要です。

これは11月9日に意見交換を行っておりまして、その結果を報告するものでございます。

議題の5は、ICRP（国際放射線防護委員会）2023シンポジウムの開催の報告。

これは、11月6日から9日にかけてお台場で行ったシンポジウムの結果を報告するものでございます。

また、審査会合、会見については、11月20日、5番目の案件で、第506回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合が予定されております。対応は田中委員です。

議題は、日本原燃株式会社再処理事業所再処理施設、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請についてです。

これについては、前回、地盤モデルの設定について、東側地盤についての議論が行われておりますが、今回は西側地盤の審査を行う予定となっております。また、MOX燃料加工施設について、前回までにグローブボックスについてどのように説明をするかという方針を整理してきましたので、その整理に基づいて、ほかの設備の構造設計について説明を事業者から受けるということとなっております。

また、要人面談については、原子力発電関係道府県議会議長等の来訪が11月15日に予定されております。対応は片山長官です。

来訪予定は、園山島根県議会議長、富原北海道議会議長、福羅愛媛県議会副議長、丸井青森県議会議長、西本福井県議会議長、中沢静岡県議会議長となっております。東京電力福島第一原子力発電所事故の対策、安全確保対策、原子力対策について要望を受けるといことが予定されております。

案件は以上でございます。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

議題ではありませんけれども、先週の職員の逮捕について、その後何か新しい情報は入っていますか。

○吉野総務課長 職員については、昨日釈放されたということを本人から連絡を受けております。規制委員会では、本人の状況を見まして、詳細について把握をして厳正に対処するという方針でございます。

○記者 では、以後、事案の概要についてはもう広報されないということですか。

○吉野総務課長 今、警察のほうも広報をしていないという状態でございますので、状況を見ながら判断していきたいと思っております。

○司会 ほかに御質問はありますでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—